

(別添 3)

【世羅町】 校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」において、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目のうち、本町において特に課題となる項目とその解決策については以下のとおりである。

1 統合型校務支援システムの導入

本町においては、現在、統合型校務支援システムを導入していない。

各学校において独自のエクセルファイル等を活用し、成績処理等を行っている状況であり、本システムの導入により、システムや帳簿を共通化することで業務の標準化・業務改善を図ることは急務である。

本町での独自導入についての方向性ととともに、県が主導する校務支援システム共同調達の動きも視野に入れながら、導入に向けての検討を行う。

2 学校と保護者間の連絡ツールとしてのクラウドサービスの活用

本町においては、令和5年度より学校と保護者間の連絡ツールとなるクラウドサービスを導入し活用しているが、保護者から学校への遅刻・欠席等の連絡ツールとしての活用が主であり、学校から保護者への連絡やアンケート実施等への活用は進んでいない。

本クラウドサービスの積極的な利用が進むよう、提供業者と連携した研修会の実施や、各学校の効果的な活用事例の情報収集や発信等を、教育委員会が主導して行う。

3 押印が必要な書類やFAX活用の見直し

本町においては、学校からの提出書類について押印が必要な書式が複数あり、送達方法は電子メールではなく逓送や手交を用いている現状がある。業務の効率化を図るため、押印が不要な書類については規定等を見直し、積極的に様式の変更を行うとともに、電子メールやクラウドサービス等による書類提出方法の変更についても見直しを進める。

また、一部業者との連絡や、押印が必要な書類の情報共有を行う業務等において、FAXの使用が恒常化しているが、押印の見直しと併せて、FAXを使用する業務についての電子メールやクラウドサービスへの移行も検討する。